

2016年度 出前！生活なんでも相談会実施！

4・29 第87回福岡メーデー会場／模擬店エリアで！

“ライフサポートふくおか”は、4月29日(金)、福岡市東区「かしいかえんシルバニアガーデン(大テント広場)」で開催された、「第87回福岡メーデー」の会場において、「出前！生活なんでも相談会」を実施しました。

4回目を迎える相談会は、メーデー会場に設営された模擬店エリアの一角に「生活なんでも相談コーナー」を開設し、生活問題、労働問題、法律問題等に関する悩みの相談対応を行いました。相談アドバイザーには、“ライフサポートふくおか”的相談員3名と弁護士1名、司法書士2名の計6名を配置し、相談体制を整えました。



第87回福岡メーデー開催！かしいかえん[大テント広場]！

メインスローガン

支え合い 助け合う 心をひとつに力を合わせ、暮らしの底上げを実現しよう！



第87回福岡メーデーは、前日の雨が嘘のような晴れ渡った青空の下、福岡市東区「かしいかえんシルバニアガーデン[大テント広場]」において開催され、7,900名(主催者発表)の働く仲間とその家族が結集しました。10時からオープニングセレモニーが始まり、10時30分から連合福岡豊福組織政治局長の司会で開会しました。

冒頭、メーデー実行委員会を代表して保田委員長(連合福岡地協議長)の開会挨拶で幕が開き、続いて、連合福岡高島会長から主催者を代表して、連合の取り組むべき課題について挨拶しました。

来賓挨拶では、小川福岡県知事、貞刈福岡市副市長、緒方民進党福岡県連代表から祝辞が述べられ、その後来賓紹介、メッセージの披露、スローガン・サブスローン発表と採択、メーデー宣言の採択と進み、メーデーアピール、特別決議として「暮らしの底上げ実現に向けた特別決議(案)」が読み上げられ、採択されました。最後に、連合福岡西村事務局長が、これから運動の理解・協力と「九州はひとつ、皆で熊本、大分を支援して行こう」と挨拶し、その後“団結ガンバロウ”的三唱で、第87回福岡メーデー式典を終了しました。

会場では九州地震の救援カンパも取り組みました。



九州はひとつ！ガンバロウ熊本・ガンバロウ大分

2015年度 ライフサポートふくおか 相談実績表

【相談種別】

相 談 内 容	2013年度		2014年度		2015年度		
	件 数	占有率	件 数	占有率	件 数	占有率	
労働組合関係	15	2.5%	18	2.2%	11	1.3%	
	82	13.6%	118	14.6%	113	13.3%	
	116	19.2%	153	18.9%	151	17.8%	
	40	6.6%	92	11.4%	109	12.9%	
	140	23.2%	139	17.2%	148	17.5%	
	50	8.3%	68	8.4%	80	9.4%	
	16	2.6%	22	2.7%	21	2.5%	
	82	13.6%	157	19.4%	163	19.2%	
	63	10.4%	42	5.2%	52	6.1%	
小 計		604	100.0%	809	100.0%	848	100.0%
生活保護制度	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	
	2	4.5%	1	1.4%	1	1.1%	
	4	9.1%	2	2.7%	7	7.4%	
	2	4.5%	2	2.7%	1	1.1%	
	29	65.9%	56	75.7%	64	74.4%	
	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	
	1	2.3%	1	1.4%	2	2.1%	
	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
小 計		44	100.0%	74	100.0%	95	100.0%
合 計		648		883		943	

【相談ルート】

・インターネット	300 人
・テレビ、ラジオ 新聞	81 人
・チラシ・リビング	24 人
・友人知人労組	62 人
・その他 (行政)	45 人
・不明	156 人
計	668 人

【相談者年齢層】

70歳代	9名
60歳代	55名
50歳代	103名
40歳代	129名
30歳代	104名
20歳代	127名
不 明	95名
計	668名

【男女別】

男性	335 人	50.1%
女性	333 人	49.9%
計	668 人	100%

地域だより

～遠賀川地域労福協～



直方市の成金饅頭



直方市では、明治時代、日露戦争で物資の値が高騰することを見込んだ青年が、大量にうずら豆を買い込んだことから始まった。しかし、その直後に日露戦争が終結して、相場が大暴落となった。途方に暮れた青年は、大量の豆を処分するために豆から白餡を作り饅頭を製造したところ、好評な売れ行きを博したのが、「成金饅頭」の始まりであるとされている。当時の筑豊では重労働で疲労した炭鉱労働者たちに甘い菓子が大変好まれた。

「成金」の名づけ親は、炭鉱で財をなした成金が多かつたため、地元で炭鉱王と呼ばれた貝島太助だとか、鉱山機械を売って財を成した沼田植蔵にちなんだなどという諸説がある。饅頭と称しているが、一種のどら焼きだとみることもできる。梅の花の焼印と中身は白餡で、餡には原料のうずら豆の食感がある。(出典/ウィキペディア)

「成金饅頭」の大きさは、直径 20 cm から 30 cm ほどある大きなサイズから、直径 9 cm の小ぶりなものがあるが、大きなものは贈答品や結婚式の引き出物に用いられ、現在では小さなサイズがよく売れている。なお、大きいサイズについては、注文が必要である。

最盛期の 1950 年代には 10 件ほどあった店が、石炭産業衰退とともに 2007 年時点では、大石、喜久屋、四宮、博多屋の 4 件までに減少した。

食べ方については、一度に皮と餡を食べている人が多いようですが、私は、よく皮から食べて、それから餡を食べます。

あなたならどう食しますか？一度は、この「成金饅頭」を食してみてはいかがでしょうか。



中央労福協・第1回地方労福協会議開催される！

中央労福協は、3月10日(木)～11日(金)の両日、東京都千代田区神田「明治大学紫紺館」において、「第1回地方労福協会議」を開催しました。会議には、各県労福協、中央労福協事務局等、60名が出席し、冒頭、黒河副会長から主催者を代表して挨拶した後、黒河副会長を座長に会議が進められました。

会議では、花井事務局長から今までの取り組み報告があり、特別報告、二つの講演、五つの事例報告、中央労福協の2016年度活動計画について、全体討論を行い確認されました。

また、この日は東日本大震災が発生して、5年目にあたり、会議が始まる前に全員で、犠牲になられた方々に対し黙祷を捧げました。



第1回 地方労福協会議会場

【1日目】

I. 報告事項

1. 中央労福協関係

- ① 2015年度「生活底上げ・福祉強化キャンペーン」
- ② 奨学金問題に関する取り組み

2. 各ブロック報告

II. 特別報告

「『労働者の暮らしにかかるサポート事業の当面の確認事項』をふまえた具体的対応について」

III. 講演・経験交流

「奨学金問題をめぐる状況と課題」

【2日目】

IV. 講演

「生活困窮者自立支援法の施行状況について」

V. 事例報告

- ①和歌山県 ②北部 ③沖縄県 ④東部 ⑤鳥取県

VI. 中央労福協の2016年度活動計画

1. 「2016 生活底上げ・福祉強化キャンペーン」の取り組み
2. 奨学金問題に関する取り組み（第2・3ステージ等）
3. 生活困窮者自立支援、ライフサポート活動、利用促進・共助拡大ほか

VII. 全体討論

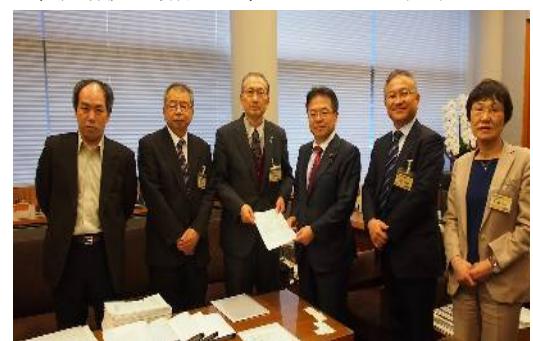
3/22：奨学金署名301万筆、官邸へ提出！院内集会開催！

昨年9月から取り組んできました「給付型奨学金の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める署名」活動は、中央労福協（3月18日現在）301万3,851筆、福岡県労福協は、（3月8日現在）17,229筆を集約することができました。皆さまのご理解、ご協力に感謝申し上げます。

中央労福協は、この301万筆を超える署名を、奨学金問題対策全国会議と協同で、3月22日(火)15時40分、総理官邸にて、神津会長から世耕官房副長官に署名簿の目録を添えて要請書を手渡し政策実現への対応を要請しました。また、花井事務局長からは、中央労福協で実施したアンケート調査結果等の説明を行いました。

奨学金問題対策全国会議、大内代表は「高等教育を家計で支えることが困難になり、学びたいひとが学べなくなっている。超党派で政策課題として考えていただきたい」と要請し、岩重弁護士は「現場で相談を受けている立場から、現場の実情を聴取しつつ制度改善を図るよう」訴えました。

同日院内集会開催！署名 段ボール234箱・重さ1.8t



署名簿・要請書を渡す神津会長(左から三人目)



400名を超える参加者で開催された院内集会

同日17時30分から、参議院議員会館の講堂で、賛同いただいた国会議員、関係者含め400名以上集まり「院内集会」を開催しました。会場前列には、301万筆を超える署名を前に、神津会長は「国会においても署名の重みをしっかりと受け止め、実現につなげてほしい」と参加した国会議員に呼びかけました。

